

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度北九州港港湾施設施工検討業務					
業 務 概 要	業 務 名 称	業 務 内 容	単 位	数 量	摘 要	
	港湾施設施工検討業務					
	計画準備	計画準備	式	1		
	施工条件等の整理	資料収集整理 施工条件の整理	式 式	1 1		
	施工方法の検討	異形ブロック等撤去方法の検討 岸壁施工方法の検討 地盤改良工法の検討 上部コンクリートの施工検討 土捨方法の検討	式 式 式 式 式	1 1 1 1 1		
	工程計画の検討	工程計画の検討	式	1		
	協議・報告	協議・報告	回	4	事前協議1回 中間報告2回 最終報告1回	
	成果物	業務完成図書作成	式	1		
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所長 北原 政宏 九州地方整備局北九州港湾・空港整備事務所 北九州市門司区西海岸1-4-40					
契約年月日	令和5年10月5日					
契約業者名	一般財団法人 港湾空港総合技術センター					
契約業者の住所	東京都千代田区霞が関3-3-1					
契約金額	23,870,000円(税込み)					
予定価格	23,881,000円(税込み)					

<p>随意契約によることとした理由</p>	<p>本業務を的確かつ円滑に実施するためには、洋上風力発電用資機材等の重量物に耐えうる施設整備の知見を有するとともに、想定される施工上の課題について、施工性、経済性等を踏まえた施工方法及び工程計画の検討を行う高い技術力を有している必要がある。</p> <p>以上のことから、プロポーザル方式により、契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明業者においては、予定技術者の経験・能力（技術資格、業務執行技術力、専門技術力）、発注者の要請に対する的確性・迅速性に関する本業務の実施体制及び本業務に関する特定テーマに対する技術提案の提出を求めるとともに、予定技術者へのヒアリングを行うことにより、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、「本施設の整備を行うにあたって必要となる異形ブロック等の安全な撤去方法の検討にあたっての課題と具体的対応方針」に関する提案を評価し、一般財団法人港湾空港総合技術センターが最適であると判断されたことから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものである。</p>
<p>業 務 場 所</p>	<p>—</p>
<p>業 種 区 分</p>	<p>建設コンサルタント等</p>
<p>履 行 期 間 （ 自 ）</p>	<p>令和5年10月5日</p>
<p>履 行 期 間 （ 至 ）</p>	<p>令和6年3月22日</p>
<p>備 考</p>	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。